

やなかわ

YANAGAWA 2013.

No.188

1月15日

今号の内容	ページ
◆滞納は待たないしだ税!	2~3
◆市県民税の申告は3月15日まで	4~5
◆インフルエンザ・ノロウイルスに注意	6
◆水道管の凍結防止、臨時職員登録募集	7
◆市民のひろば(8-9) ◆俳句(9) ◆情報わいど(10-13) ◆がんばったね、ぬくもり(14) ◆もちふみデビュー(14-15) ◆人権・同和教育シリーズ(16)	



ジャンボな福願い初詣で

元日は、多くの参拝客が初詣のため市内の神社を訪れました。毎年ジャンボお多福面が出迎える目吉神社(坂本町)には、参道に参拝客の長い列ができていました。参拝客はお多福面をくぐり拝殿の前に着くと、鈴を鳴らして手を合わせ、今年1年の家内安全と無病息災を祈願。参拝後は、破魔矢や熊手など正月の縁起物を買って求めたり、おみくじを引いて楽しんだり、ばったり会った知人に新年のあいさつを交わしたりして、新しい年の訪れを祝いました。

人権作文

市内の小中学生が書いた人権作文を紹介します。

学ぶことについて

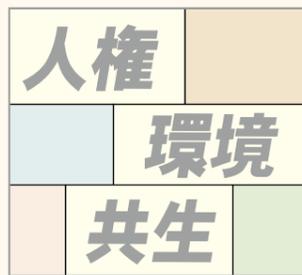


蒲池中学校3年
あいか
中村 愛佳さん

私は、人権学習で「学ぶこと」について考えました。
学習の中には、あるおばあさんの話が出てきました。そのおばあさんは、私たちと同じく若い年のときに、勉強ができなかったそうです。決して、勉強が嫌いだっただけでもないです。やる気がなかったわけでもありません。家族のために働かなければいけなくて、学校に行っ

て勉強することができなかったのです。おばあさんは、そのときは勉強することをあきらめました。60代になった今、もう一度学校へ行って勉強されているそうです。
私は、この話を聞いて、とても驚きました。なぜかというところ、私だったら、勉強をしなくていいのならないだろうと思ったからです。でも、このおばあさんの気持ちになってみると、私の思いはまちがっていたことに気がつきました。

今は、学ぶこと(勉強すること)は当たり前のことになっていきます。ですから、私にとっては、勉強することは義務であり、誰かにさせられているという感覚でしかありませんでした。しかし、おばあさんにとっては、学ぶことは義務ではなく、権利であり、学べるということ、とても幸せなことなのでしょう。そして、他の誰のためでもなく、何より自分のために勉強をしたいと思っておられるのです。
私はこれから、今までのように、学ぶことは、誰かにさせられていくという考え方はやめたいと思いました。そして、学ぶことは、自分のために、自分が幸せになれる一つの方法として考えていきたいです。
だから、そのためにも、今は高校受験に向けて、自分から机に向かい、自分のためにやるんだという気持ちを忘れないで、勉強にはげみたいのです。また、今勉強ができるということへの感謝の気持ちを忘れず、毎日の予習・復習もしっかりがんばりたいです。



【評】「勉強しなくてよかったらどんなにいいだろう」と一度は考えたことがある人も多いと思います。しかし、人権学習で学んだ「おばあさん」のお話から、今の自分に足りなかったことに気づき、それを改善・実行しようという決意したことはすばらしいですね。人生は勉強の連続です。その気持ちを忘れずがんばりましょう。